

2年生 生活科「めざせ おもちゃはかせ」

目指す児童の姿

- ・課題に意欲的に取り組み、できたことや分かったことを自信につなげられる子
- ・自分の考えを伝えたり、友達よさに気付いたり、これまでの経験を生かしたりして学ぶ子

《今回の学習内容》

この単元では、身近にある物を使って動くおもちゃをつくります。よりよく動くおもちゃをつくるために素材あそびの体験をし、動力となるゴムやおもり、空気などはたらきやおもしろさに気付くようにします。そこで、今回は指導者の紹介するゴムの力を使った簡単なおもちゃを作って、たくさん遊ぶ活動をしました。(本授業は、活動時間を十分に保障するために60分で行いました。)

- 1 まず、ゴムを使ったおもちゃの見本を指導者が用意して、児童に見せました。今回はパッチンガエルとロケットの2種類です。その2種類のおもちゃの動力となるゴムが、どのように使われているのかを考え、班に分かれてどちらか1種類をつくります。

ゴムを太さを変えたらどうか？

いろいろ試してみよう！



- 2 いよいよおもちゃづくりが始まりました。見本のおもちゃのゴムの使い方を見ながら、つくっては試し、つくっては試しを繰り返していきます。その中で、ゴムの本数や太さなどのゴムの使い方の工夫をしながら、活動を楽しみました。

- 3 クラスの半分の班がパッチンガエルを、半分の班がロケットをつくりました。そこで、互いの班のつくったおもちゃを見合う時間を設定しました。相手の班のおもちゃで遊び、どのような工夫をしたのかを聞いたり、確かめたりしました。



ロケットのおもちゃの輪ゴムの数を増やして試してみたら、よく跳びました。

輪ゴムの数を増やして工夫してみたよ。

- 4 最後に、本時の学習について、振り返りをしました。ゴムの使い方の工夫で跳び方が変わったなどのうまくいったこと、何度も挑戦して自分ができたこと、次回の課題にしたいことなどを発表しました。今後、おもりや風の動力遊び体験もし、おもちゃはかせを目指して自分のおもちゃづくりに生かしていきます。

